# 評価結果票

<児童養護施設>

施設名:南山寮

平成29年度

福祉サービス第三者評価機関 株式会社スニックス

# 第三者評価結果シート・コピー(児童養護施設)

種別 児童養護施設

# ①第三者評価機関名

株式会社 スニックス

<u>②評価調査者研修修了番号</u>		
\$15127		
\$15041		
25地福第2303-20号		

# ③協設夕笙

③肥政石守	
名 称:	南山寮
施設長氏名:	山田 勝己
定 員:	50名 (地域小規模児童養護施設みなみ 6名)
所在地(都道府県):	愛知県
所在地(市町村以下):	名古屋市昭和区南山町5番地
T E L :	052-831-3750
URL:	http://www.nanzan-v.com
【施設の概要】	
開設年月日	1886/10/6
経営法人・設置主体(法人名等):	社会福祉法人 愛知育児院
職員数 常勤職員 :	31名
職員数 非常勤職員 :	13名
専門職員の名称(ア)	保育士
上記専門職員の人数:	16名
専門職員の名称(イ)	児童指導員
上記専門職員の人数:	10名
専門職員の名称(ウ)	栄養士
上記専門職員の人数:	1名
専門職員の名称(エ)	臨床心理士
上記専門職員の人数:	3名
専門職員の名称(オ)	家庭支援専門相談員
上記専門職員の人数:	1名
専門職員の名称(カ)	自立支援担当職員
上記専門職員の人数:	1名
施設設備の概要(ア)居室数:	
施設設備の概要(イ)設備等:	
施設設備の概要(ウ):	
施設設備の概要(エ):	

④理念・基本方針 基本指標:人間性豊かな人間形成「いのちの輝き」を追求する

# 基本方針:

- 1. 基本指標を常に念頭に置き、子どもたちが心身共に健やかに育つべく日々のケアに努めるとともに、社会的自立に向けて全
- | 本条相保を制に必要に置き、子ともたうがです。には、かに自って、ロ、シップにある。ここで、「これでサポートする。 2. 職員一同、常に権利擁護の立場に立ち、社会的養護の基本理念である「子どもの最善の利益のために」を念頭に、子どもたちに「あたりまえの生活」を保障し、権利と責任の大切さを伝える。 3. 積極的に地域社会と関わり、地域住民に愛され、信頼される施設になる。 4. 関係機関との連携を強化し、アドミッションケアからインケア、リービングケア、アフターケアまでのパーマネンシープラ
- シニングの充実に努める。 5. 地球人として「いのち」を大切にする心、人との絆を大切にする心、物を大切に扱う心を育てる。

# ⑤施設の特徴的な取組

- ・施設独自の倫理要綱の策定や権利擁護委員会の活動など権利擁護に関する積極的な取り組みの実施

- ・性別、年齢別に応じた専門家や職員による性教育への取り組み ・子ども同士または、職員が子どもをを褒める体制の確立 ・法人内高齢者施設での喫茶クラブの取り組みなど世代間交流や地域との積極的な交流
- ・ヒップホップダンスや楽器演奏など様々な余暇活動への支援
- ・地下水システムによる水ライフラインの整備

# ⑥第三者証価の受塞状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2017/6/12
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2018/1/10
受審回数	1 回
前回の受審時期	平成26年度

# ⑦総評

# ◇評価を通して

職員アンケート、職員ヒアリングを通じて職員が大変働きやすい環境にあることが確認でき、職員間の連携も図られている。また、子どもたちのアンケートからは「安心して生活できる環境」であることが確認できた。職員にとっては働きやすく、子どもにとっては安心できる場所が提供されるなど、ソフト面が整備された環境と風土にある。

施設の支援体制や質はかなり高い水準にあるが、現状で満足することなく改善に向けた意識を持ち続けているなど、施設長を中心に前向きな姿勢が感じられる組織である。

### ◇特に評価の高い占

- ・大変わかりやすいホームページは、理念、支援の内容、事業計画、事業報告、予算決算、苦情相談の対応結果結果等丁寧に 載せてある。加えて、毎月発行の施設通信も掲載されており、行事などの様子が丁寧に伝えられ関係者への情報提供に努めて られている。
- ・家庭的養護の取り組みについては、問題提起して小規模化プロジェクト会議を設置し組織としての方向性を明確にし、グループケアユニット3か所の設置、地域小規模児童養護施設を開所している。
- ・名古屋市の権利擁護委員会の委員長として、子どもたちの権利擁護に関して率先して取り組まれている施設長は、施設内で も権利擁護委員会を立ち上げるなど生活の質の向上に努められている。
- ・数年前から行われている性教育は、年齢や性別に応じた内容を専門家を中心に実施されており、子どもたちにとり大きな意味を持つ重要な研修と位置付けている。
- ・地域との交流は積極的であり、子ども会への加入や地域行事への参加、施設のホールを地域へ提供するなど、積極的な交流 が図られている。
- ・「ほっこりカード」という子どもたちの良い行動や素敵な一面に対する気づきを取り上げ、掲示する取り組みは大変素晴ら しく、子どもたちの自己肯定感を高めることにもつながっている。
- ・子どもたちの希望するヒップホップダンスや音楽バンドなどの余暇活動を施設として支援しながら、活動のためのスペース 確保や披露する機会なども保障している。

# ◇改善を求められる点

- ・職員の育成については、研修会への参加やスーパーバイザーの活用などにより実施されているが、職員個別の目標設定や考課する仕組みなど総合的な人事制度についても検討されたい。併せて、職員個々の研修計画を検討されるなど、さらなる資質の向上に向けた取り組みに期待したい。
- ・現状の体制や子どもたちの状況では必要性を感じていない、いくつかの仕組みづくりや資料作成等についても検討される事を望む。また、事例などの具体的に示すことで周知や理解が深まるものにつても検討されたい。
- ・インシデント、アクシデントについては報告等適切であるが、その後の分析や再発防止に関する検討についても徹底される ことを望む。
- ・本体施設では幼児から高校生まで同じ形状調理で食事が提供されているが、幼児等子どもの発達年齢に合わせた食事形態への検討を望む。

## ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

平成26年度の受審から3年が経ち今回で2回目の第三者評価受審となりました。

前回の第三者評価受審で指摘された事項を参考にしながら、施設内にプロジェクトや委員会を立ち上げ、改善が求められる 課題につき、施設職員全体で少しずつ前進をしてきました。職員が努力を重ねてきた部分に加え、南山寮の子どもたちが安 心・安全に暮らすことのできる風土について高く評価いただき、職員一同嬉しく思い、今まで以上により良い環境を子どもた ちに提供すべく努力していく所存です。また、ご指摘いただいたように、人事考課の仕組み作りや職員にとって有機的な研修 計画の立案の部分については、まだまだ取り組みが出来ていない部分、努力が足りない部分があること、既存のマニュアルが さらに有効なものとなるような改善が必要なことを痛感しております。さらには、施設の職員全員で、年度ごとの事業計画の 策定や、南山寮の未来を見据えた中・長期計画の策定に取り組んでいきたいと考えます。

今回の評価結果を踏まえ、現状、南山寮が有するストレングスをさらに活かし、ウィークポイントを改善しつつ、児童養護施設で暮らす子どもたちに最も必要な「自立(自律)」をソーシャルワークの目標として、日々の生活における「安心・安全の担保」「子ども一人ひとりの権利擁護」という、児童福祉の基盤のさらなる強化を重ねていきます。

2

3

# 第三者評価結果(児童養護施設)

共通評価基準(45項目) I 養育・支援の基本方針と組織

1	理念	•	基本	方	斜
1	理忍	•	奉本	Л	亚

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
□理念、基本方針が文書(事業計画等の法人・施設内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	$\circ$
□理念は、法人・施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人・施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	$\circ$
口基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規 範となるよう具体的な内容となっている。	$\circ$
□理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	$\circ$
□理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	
口理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	0
【コメント】	

伝統ある本施設の理念・基本方針は定款に「サービスの提供にあたっては、利用者の意向を尊重し、個人の尊厳を尊 重し、心身健やかに育成されるための創意工夫をすること」と定められ、「いのちの輝き}を求めるという言葉で表 している。施設の自己評価においては利用者、保護者への分かりやすい資料は工夫していないということであるが、 利用者に対しては施設生活を経験した法人理事長が全体集会で機会あるごとに講話で話している。保護者への説明に ついては、困難性があるが保護者は自分の子どもがどんな環境で育てられいるかも含めて、あらゆる機会を利用して 積極的に知らせていく取り組みが必要である。

# 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 [価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析さる。	れてい	b
口社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。		$\circ$
□地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。		$\circ$
□子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要ともに関するデータを収集するなど、法人・施設が位置する地域での特徴・経営環境や課題を把握し分析している。		$\circ$
口定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推率等の分析を行っている。	₤移、利用	0

# 【コメント】

児童福祉関係については、国の動向やそれに対する名古屋市の動き等施設長が把握、分析し逐一職員会議で報告している。ただし、職員の理解度・浸透度については十分とはいえない、と評価に疑問が投げかけられているため、今後は職員への周知方法について工夫されるなど、理解・浸透に向けた取り組みに期待したい。

2	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
	□経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、 財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	0
	□経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	0
	口経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	
	□経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	0

経営課題等は施設長が大枠を提起し、職員が検討会において具体的検討して進めている。しかし、自己評価において は現状分析や経営課題が職員全員理解できていないという評価であることから、職員集団としてどこまで理解してい るかを明確にして、不足分を促進していく取り組みについても自己評価をする必要があると思われる。

〔1〕 中・長期的なビジ:	ョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結
1	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
		0
	□中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施 状況の評価を行える内容となっている。	0
	□中·長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	0
可能となり、各年度ごとの計	護推進計画」が作成され、名古屋市に提出されているが市の予算の都合で計画の 十画に変更して遂行している。中長期ビジョンは施設長の意向が強く反映された 「成等については職員とのコミニケーションを、より図って組織として相互理解 る。	たものと
2	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	□単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容 が具体的に示されている。	0
		0
	□単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	0
【コメント】		0
長期計画上の年度別計画によ づいて単年度計画を作成する 価がなされており、計画作成	□単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、 実施状況の評価を行える内容となっている。 ちり、単年度計画は作成されているが、元となる中長期計画の再検討を行って、 ることが必要である。自己評価において、職員全員が理解しているかわからなり 成の職員参加や計画づくりの進め方等を一度検討することが必要と思われる。 策定されている。	ことれに
長期計画上の年度別計画によ づいて単年度計画を作成する 価がなされており、計画作成 2) 事業計画が適切に登	□単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、 実施状況の評価を行える内容となっている。 ちり、単年度計画は作成されているが、元となる中長期計画の再検討を行って、 ることが必要である。自己評価において、職員全員が理解しているかわからなり 成の職員参加や計画づくりの進め方等を一度検討することが必要と思われる。 策定されている。	ことれに
長期計画上の年度別計画によ づいて単年度計画を作成する 価がなされており、計画作成 2) 事業計画が適切に登	□単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、 実施状況の評価を行える内容となっている。 ちり、単年度計画は作成されているが、元となる中長期計画の再検討を行って、 ることが必要である。自己評価において、職員全員が理解しているかわからなり 成の職員参加や計画づくりの進め方等を一度検討することが必要と思われる。 策定されている。 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行わ	それにいという
長期計画上の年度別計画によ づいて単年度計画を作成する 価がなされており、計画作成 2) 事業計画が適切に登	□単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、 実施状況の評価を行える内容となっている。 ちり、単年度計画は作成されているが、元となる中長期計画の再検討を行って、 ることが必要である。自己評価において、職員全員が理解しているかわからなり 成の職員参加や計画づくりの進め方等を一度検討することが必要と思われる。 策定されている。 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	う それに いという
長期計画上の年度別計画によ づいて単年度計画を作成する 価がなされており、計画作成 2) 事業計画が適切に登	□単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。  5 り、単年度計画は作成されているが、元となる中長期計画の再検討を行って、ることが必要である。自己評価において、職員全員が理解しているかわからなりの職員参加や計画づくりの進め方等を一度検討することが必要と思われる。  5 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。  □事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。  □計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手	くれに いという b
長期計画上の年度別計画によ づいて単年度計画を作成する 価がなされており、計画作成 2) 事業計画が適切に登	□単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。  5 り、単年度計画は作成されているが、元となる中長期計画の再検討を行って、ることが必要である。自己評価において、職員全員が理解しているかわからなりの職員参加や計画づくりの進め方等を一度検討することが必要と思われる。  6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。  □事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。  □計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	ら さればいという
長期計画上の年度別計画によ づいて単年度計画を作成する 価がなされており、計画作成 (2) 事業計画が適切に登	□単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。  5 り、単年度計画は作成されているが、元となる中長期計画の再検討を行って、ることが必要である。自己評価において、職員全員が理解しているかわからなりの職員参加や計画づくりの進め方等を一度検討することが必要と思われる。  6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。  □事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。  □計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。  □事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	<ul><li>されにいという</li><li>b</li></ul>

	2	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b
			0
		口事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。	0
		□事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	
		□事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の 工夫を行っている。	
方など経験に基づく訪	説明を行ってし	ご説明し、本施設で生活を経験した法人理事長が自己の生活を振り返って いる。しかし、児童養護施設の機能上、保護者会などは未設置であるため 隻者への周知方法についても検討され、施設生活の在り方などを知らせて	り特に説
		の組織的・計画的な取組	<i>⁄</i> ⁄⁄ — →
1) 質の向上に向		組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
	1	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
		□組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	0
		口養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	0
		口定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三 者評価等を定期的に受審している。	0
		□評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	$\circ$
員個々の養育支援の向 で行っている。PDCAサ の取り組みに期待した	ナイクルによる	前年の実施内容を現場で総括して、職員会議、リーダー会議を経てボトる評価、見直しなどの部分は、改善の余地があると自己分析されているが 評価、自己評価については積極的に実施して、結果についてはホームペーター 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計	-め、今
員個々の養育支援の向 で行っている。PDCAサ の取り組みに期待した	サイクルによる とい。第三者記	る評価、見直しなどの部分は、改善の余地があると自己分析されているだ 評価、自己評価については積極的に実施して、結果についてはホームペー	<u>-</u> め、今 -ジ上で
員個々の養育支援の向 で行っている。PDCAサ の取り組みに期待した	サイクルによる とい。第三者記	5評価、見直しなどの部分は、改善の余地があると自己分析されているだ 評価、自己評価については積極的に実施して、結果についてはホームペー 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計 画的な改善策を実施している。	:め、今 -ジ上で ジ上で b
員個々の養育支援の向 で行っている。PDCAサ の取り組みに期待した	サイクルによる とい。第三者記	<ul><li>お評価、見直しなどの部分は、改善の余地があると自己分析されているだ評価、自己評価については積極的に実施して、結果についてはホームペーター</li><li>9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</li><li>□評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。</li></ul>	- め、今 - ジ上で b
員個々の養育支援の向 で行っている。PDCAサ の取り組みに期待した	サイクルによる とい。第三者記	<ul> <li>お評価、見直しなどの部分は、改善の余地があると自己分析されているだ評価、自己評価については積極的に実施して、結果についてはホームペーターのでは、自己評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</li> <li>□評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。</li> <li>□職員間で課題の共有化が図られている。</li> <li>□評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善</li> </ul>	- め、今 - ジ上で b
プで行っている。PDCAサ	サイクルによる とい。第三者記	<ul> <li>毎日になどの部分は、改善の余地があると自己分析されているだ事価、自己評価については積極的に実施して、結果についてはホームペーターのおりでは、まままである。</li> <li>毎日については積極的に実施して、結果についてはホームペーターのおりでは、ままままである。</li> <li>□評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。</li> <li>□職員間で課題の共有化が図られている。</li> <li>□評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。</li> </ul>	cめ、今 -ジ上で b

# Ⅱ 施設の運営管理

1 施設長の責任	シリーダ-	ーシップ	
(1) 施設長の責	任が明確にさ	<b>されている。</b>	第三者 評価結果
	1	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
		□施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。 	0
		口施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明してい る。	
		□施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	0
		□平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	0
【コメント】	•	•	
いない。また、一部の	職員は役割や	管理規定」や「指導の手引き」に記載はされているが、対外的には表明( 責任を十分理解していないことから、それらを果たしているかどうかわれ 長は積極的に自己の役割、責任について文章で表明するなど、周知に向(	からない
	2	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
		口施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	$\circ$
		□施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。 	$\circ$
		口施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	$\circ$
		口施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体 的な取組を行っている。	
が周知された法令等に	ついて理解で	るために、研修等へ積極的に参加して職員会議等で説明しているが、全 きているかどうか分からないとの自己評価がなされている。そのために 閲覧できるような体制をとるなど、職員の理解促進を図る方法の検討に類	ま、重要
(2) 施設長のリ	ーダーシップ	が発揮されている。	
	1	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	а
		口施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	0
		□施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組 を明示して指導力を発揮している。	0
		□施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自 らもその活動に積極的に参画している。	0
		□施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体 的な取組を行っている。	0
		□施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	0
		口施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めて いる。	$\circ$
【コメント】	12 + 14:45:45	チョムのチョミにおけって、カナロナの口立の佐知姉珠のようになせず。	での作む
擁護委員会の設置や研 置するなど、子どもの	修会の開催な 権利を守る取	委員会の委員長に就任して、名古屋市の児童の権利擁護のために各施設 <sup>-</sup> ど先頭になって取り組んでいる。本施設においても子どもの権利擁護委! り組みに関してリーダーシップを発揮され行っている。また、家庭的養!	員会を設 護につい
		ェクト会議の設置など組織として取り組み、グループケアユニット3かF 、子どもたちの生活の質の向上に向け指導力を発揮している。	所の設

歴長は経営の効率化に向けて、地下水の利用や電灯のLED化を進めたり、税理工や社労士と相談をして、経営面の				
を設まえ分析を行っている。 □施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員和置、職員の協会や打破技芸館等、具体的に取り組んでいる。 □施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。 □施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らももの活動に積極的に参慮している。 □施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めために施設内に具体的な体制を構築し、自らももの活動に積極的に参慮している。 □施設長は整否の効率化に向けて、地下水の利用や電灯のLED化を進めたり、税理士や社労士と相談をして、経営面の書や業務の実効性をあげる取り組みを推進している。ただし、職員配置においては、適材適所でないという意見もかれるため、人事管理において組織としての体制づくりに期待したい。  「福祉人材の確保・育成 1) 福祉人材の確保・育成 1 は 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、財銀的実施されている。 □必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 □本度な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 □本度に関する方針が確立している。 □本度に関する方針が確立している。 □本度に関する方針が確立している。 □本度に関する方針が確立している。 □本度に関する方針が確立している。 □本度に関する方針が確立している。 □本度に関する方針が確立している。 □本度に関する方針が確立している。 □本度に関する方針が表しまして、対象のを実に対象されている。 □本度に関する方針が確立している。 □本度に関する方針が確立している。 □本度加速を存在している。 □本度加速を存在している。 □本度加速に関する経過に関いている。 □法人・施設の関連を表を検討されることに期待したい。 □本度加速を存在している。 □本度加速されている。 □本度加速されているのでは、電景の管理を発行している。 □を表しているのできるような総合的な仕組かづくりができている。 □を表していては倫理機が定めるかなより、現在人事考課は実施されていない。 環負育成面や組織の活 コメント ■本のを関係側については倫理機が高かられており、、現在人事考課は実施されていない。 環負育成面や組織の活 コメント ■本述を表していては倫理機が高かられており、、現在人事考課は実施されていない。 環負育成面や組織の活		2		b
●				0
本形成するための取組を行っている。				
本構築に、自らもその活動に積極的に参画している。				
歴長は経営の効率化に向けて、地下水の利用や電灯のLED化を進めたり、税理工や社労士と相談をして、経営面の				0
1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	対善や業務の実効性を <i>も</i>	あげる取り組	みを推進している。ただし、職員配置においては、適材適所でないとい <sup>、</sup>	
14 必要な福祉人材の健保・定着等に関する具体的な計画が確立し、助知が実施されている。  □必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 □養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。 □法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。 □法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。 □法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。 □法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。 □本基準(採用活動等)を実施した人事体制に努められている。今後は、支援の質確保の観点からも社会福祉士の配置についても検討され、計画的に進められることに期待したい。  ②  15 総合的な人事管理が行われている。 □法人・施設の理念・基本方針にもどづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確に定められ、職員等に開知されている。 □本基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に開知されている。 □本基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に開知されている。 □社議員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。 □職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。 □地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地震力・変換を指したいという理由もあり、現在人事者課は実施されていない。職員育成面や組織の活 コメント】	2 福祉人材の確	保・育成		
取組が実施されている。  □必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 □法育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。 □法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。 □法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。 □法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。 □各種加算職員を配置し、より充実した人事体制に努められている。今後は、支援の質確保の観点からも社会福祉士の配置についても検討され、計画的に進められることに期待したい。  ② 15 総合的な人事管理が行われている。 □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確に定められ、 ・ □ 職員を記述している。 □ □ 職員の事門性や職務遂行能力、職務に関する成果や資放度等を評価している。 □ □ 職員の事門性や職務遂行能力、職務に関する成果や資放度等を評価している。 □ □ 職員の基向・意見や評価・分析等にもどづき、改善策を検討・実施している。 □ □ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 □ □ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 □ □ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 □ □ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 □ 取る 電質像 □ については 配理領領で定められており、人事基準等についても就業規則で定められている。ただ、設長による職員面接の担保が難しいという理由もあり、現在人事考限は実施されていない。職員育成面や組織の活	(1) 福祉人材の研		†画、人事管理の体制が整備されている。	
成に関する方針が確立している。  □養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。  □計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。  □法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。  □各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。  □各種加算職員を配置し、より充実した人事体制に努められている。今後は、支援の質確保の観点からも社会福祉士の配置についても検討され、計画的に進められることに期待したい。  ② 15 総合的な人事管理が行われている。  □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。  □人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。  □一定の人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。  □一定の人事基準(にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。  □一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。  □職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。  □地提した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。  □地提した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。  □職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。  □職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。  □ 以る。  □ 以及る、自己のは倫理綱領で定められており、人事基準等についても就業規則で定められている。ただ、設長による職員面接の担保が難しいという理由もあり、現在人事考課は実施されていない。職員育成面や組織の活		1		b
体制について具体的な計画がある。   □計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。   □法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。   □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				$\circ$
□法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。 □各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。 □ 公人材確保については実習生へのアプローチ、ホームページの活用などアンテナを高くするなどの努力がされてる。加えて、制度などによる各種加算職員を配置し、より充実した人事体制に努められている。今後は、支援の質確保の観点からも社会福祉士の配置についても検討され、計画的に進められることに期待したい。  ② 15 総合的な人事管理が行われている。 □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。 □一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。 □地援した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地援した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地援した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地援した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。				
□各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。 □ スント】  □ の人材確保については実習生へのアプローチ、ホームページの活用などアンテナを高くするなどの努力がされてる。加えて、制度などによる各種加算職員を配置し、より充実した人事体制に努められている。今後は、支援の質確保の観点からも社会福祉士の配置についても検討され、計画的に進められることに期待したい。  □ 法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □ 法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □ 小事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。 □ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。 □ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。 □ 地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □ 地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 □ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 □ 財員で定められている。ただ、設長による職員の接向は保が難しいという理由もあり、現在人事考課は実施されていない。職員育成面や組織の活			ロ計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
コメント】  員の人材確保については実習生へのアプローチ、ホームページの活用などアンテナを高くするなどの努力がされてる。加えて、制度などによる各種加算職員を配置し、より充実した人事体制に努められている。今後は、支援の質確保の観点からも社会福祉士の配置についても検討され、計画的に進められることに期待したい。  ② 15 総合的な人事管理が行われている。  □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。  □人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。  □一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。  □職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。  □地握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。  □地職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。  □地職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。  コメント】  求める職員像」については倫理綱領で定められており、人事基準等についても就業規則で定められている。ただ、設長による職員面接の担保が難しいという理由もあり、現在人事考課は実施されていない。職員育成面や組織の活			□法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	0
員の人材確保については実習生へのアプローチ、ホームページの活用などアンテナを高くするなどの努力がされてる。加えて、制度などによる各種加算職員を配置し、より充実した人事体制に努められている。今後は、支援の質確保の観点からも社会福祉士の配置についても検討され、計画的に進められることに期待したい。  ②  15 総合的な人事管理が行われている。 □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。 □一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。 □職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。 □地握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □地震した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。			口各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	$\circ$
□法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 □人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。 □一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。 □職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。 □地握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 □職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 □職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 □職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。	は員の人材確保についている。加えて、制度など	どによる各種	加算職員を配置し、より充実した人事体制に努められている。今後は、ヨ	
□人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、 □		2	15 総合的な人事管理が行われている。	С
職員等に周知されている。  □一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。 □職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。 □把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 コメント】 求める職員像」については倫理綱領で定められており、人事基準等についても就業規則で定められている。ただ、設長による職員面接の担保が難しいという理由もあり、現在人事考課は実施されていない。職員育成面や組織の活			□法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	$\circ$
果や貢献度等を評価している。  □職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。 □把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。 コメント】 求める職員像」については倫理綱領で定められており、人事基準等についても就業規則で定められている。ただ、設長による職員面接の担保が難しいという理由もあり、現在人事考課は実施されていない。職員育成面や組織の活				$\circ$
を行っている。  □把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 □職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。  コメント】  求める職員像」については倫理綱領で定められており、人事基準等についても就業規則で定められている。ただ、設長による職員面接の担保が難しいという理由もあり、現在人事考課は実施されていない。職員育成面や組織の活				
いる。				
いる。 コメント】 求める職員像」については倫理綱領で定められており、人事基準等についても就業規則で定められている。ただ、 設長による職員面接の担保が難しいという理由もあり、現在人事考課は実施されていない。職員育成面や組織の活				
求める職員像」については倫理綱領で定められており、人事基準等についても就業規則で定められている。ただ、 設長による職員面接の担保が難しいという理由もあり、現在人事考課は実施されていない。職員育成面や組織の活				
求める職員像」については倫理綱領で定められており、人事基準等についても就業規則で定められている。ただ、 設長による職員面接の担保が難しいという理由もあり、現在人事考課は実施されていない。職員育成面や組織の活	【コメント】		!	
化のためにも効果が期待できる考課制度導入について検討されたい。職員は自己の評価について大きな関心を持っ				

(2) 職員の就業	犬況に配慮か	<b>ぶなされている。</b>	
	1	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	С
		□職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確 にしている。	$\circ$
		口職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、 職員の就業状況を把握している。	$\bigcirc$
		口職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	0
		口定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を施設内に 設置するなど、職員が相談しやすいような施設内の工夫をしている。	$\circ$
		□職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	$\bigcirc$
		□ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	
		口改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行して いる。	
		□人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づく りに関する取組を行っている。	
【コメント】			
制においては勤務上の1 ローテーション等の取り	負担格差が生し り決めと共に、	わけ休暇について取得しやすい環境にあるとの結果であった。しかし、二 じやすい状況にある。均一的な勤務体制は難しいと思われるため、勤務均 . 職員との面談機会を通じてコミュニケーションを密にされることが望ま して面談を計画的に進められる予定とのことから、その精度を高められる	易所の ましい。
	<b>カトに向けた</b>	:体制が確立されている。	
(0)	1	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	С
		□施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための 仕組みが構築されている。	$\circ$
		□ 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員 一人ひとりの目標が設定されている。	
		口職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	$\circ$
		口職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
		□職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	
【コメント】			
	引目標の設定な	職員の育成は欠かせないため、職員個人のアセスメントや個別の人材育成などを検討されたい。併せて、個々の進捗状況の確認や到達点を明確にす 或に期待したい。	
	2	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研 修が実施されている。	С
		□施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	$\circ$
		□現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
		□策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
		ロ定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
		□定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	$\circ$
【コメント】			
		明文化されているが、職員個々の状況に応じた研修計画は作成されていた こ、現状に応じた系統的な個別の研修計画を作成され、計画的に進められ	

		•	
	3	19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
	Ī	□個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	0
		□新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
		口階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	$\circ$
	   	□外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	0
	ì	□職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	0
望に添った形で参加できる 組みについては十分に確立 員の育成に期待したい。	よう配慮し されている	修テーマ等に応じて参加可能なものについては参加を促し、ある程度職 ている。ただし、新任職員等にとって日常の業務を通じて習得できる0 とは言えない。今後は、指導する職員の育成も含めたOJT体制を確立さ	JTの仕
(4) 実習生等の養育		関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
		20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制 を整備し、積極的な取組をしている。	b
		□実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文 化している。	$\circ$
		□実習生等の養育・支援の専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備され ている。	$\circ$
		□専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。 	$\circ$
		□指導者に対する研修を実施している。	
	ļ	□実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	0
【コメント】			
自らが施設としての思いを	ガイダンス 価も高い。 に期待した	に年間100余名を受け入れ、次世代の養成に努めている。実習初日には している。また、実習生受け入れマニュアルに基づいて丁寧な指導を行 今後は、研修等により実習担当者のさらなるレベルアップを図られ、よ い。	うってい
(1) 運営の透明性を	確保する	ための取組が行われている。	第三者 評価結果
Γ	1	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
		□ホームページ等の活用により、法人・施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	$\circ$
		□施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、 苦情・相談の体制や内容について公表している。	0
	1	□第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況 について公表している。	0
		口法人・施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・ 説明し、法人・施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	0
		□地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や 広報誌等を配布している。	0
【コメント】	·		
あり、見やすいものとなっ	ている。ま 載している	容、事業計画、事業報告、予算・決算、苦情相談の対応結果など丁寧にた、年2回発行の法人広報誌や毎月発行の施設の広報誌などを通じて、 。特に、法人広報誌には毎回理事長が自己の施設体験を踏まえて、法人 ている。	施設の

2	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	22
	□施設における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知 している。	$\circ$	
	□施設における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。		
	□施設における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談 し、助言を得ている。	0	
	□施設における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に 確認されている。	0	
	□外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを 行っている。	0	
	□外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。		

経営の透明性、公正性を担保するために、毎月財務諸表については外部の税理士のチェックを受けている。ただし、 単なるチェックのみで具体的な指導までには至っていない。今後は、助言や指導などの意見を求め、さらなる透明性 の確保に期待したい。事務、経理などに関する取り決めについてはある程度周知されているが、職員の理解度につい ては疑問が残る状況のため、機会ある毎に具体的に説明され、職員の理解促進にも努められたい。

#### 4 地域との交流 地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	。 a 23
□地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	0
□子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際 れば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	、必要があ
口施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的 ケーションを心がけている。	りなコミュニ
口子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	
口学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	

法人全体で地域と密着した「まつり」を開催して、多くの地域住民の参加を得ている。また、ふれあいホールを町内 会や子ども会に提供することで、地域の会議等に活用されている。さらに、地域の子ども会に施設の児童も参加して おり、子ども同士の交流も盛んである。園庭を開放し子どもたちが仲良く遊べる環境設定にも努められている。

2	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立 している。	b
	□ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	0
	□地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	$\circ$
	ロボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している	
	□ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	$\circ$
	口学校教育への協力を行っている。	0

24

ボランティアは施設にとっても大きな戦力であるという観点から、受け入れについては担当職員が配置され、積極的に受け入れ、面接等によるマッチングなども行っている。学習ボランティア、余暇のボランティア等多くを受け入れ、活用されている。今後は、円滑な受け入れのためにも、登録手続き、事前説明、保険の取り扱い等についてもマニュアルに追加され、適切に受け入れが行えるような仕組みづくりが望まれる。

切に行われている。  □ 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。  □ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。  □ 地域の関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。  □ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。  国地域に適当な関係機関を必要とり組んでいる。  「大化されており、職員間で持つないと、解条機関との連携に努められている。関係機関名簿は下れされまり、職員間で共有されている。しかし、関係機関との連携は形式的な側面が強く、ネットワークと具体的に機能しているとは思われないとの自己評価がされている。今後は、具体的な取り組みを通じて、有効に対するネットワークづくりへの提案や働きかけなどに期待したい。  「金融設の有する機能を地域に還元している。  「他設の不一スを活用して地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。  「施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。  「施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。  「災害時の地域における役割等について確認がなされている。
□関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。 □地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。 □地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。 【コメント】 記章相談所、小中学校、警察、関係医療機関などとは定期的に懇談して連携に努められている。関係機関名簿は、化されており、職員間で共有されている。しかし、関係機関との連携は形式的な側面が強く、ネットワークと具体的に機能しているとは思われないとの自己評価がされている。今後は、具体的な取り組みを通じて、有効に行るネットワークづくりへの提案や働きかけなどに期待したい。  (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 □施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。 □施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。 □施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
□地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。 □地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。  董相談所、小中学校、警察、関係医療機関などとは定期的に懇談して連携に努められている。関係機関名簿は化されており、職員間で共有されている。しかし、関係機関との連携は形式的な側面が強く、ネットワークとは体的に機能しているとは思われないとの自己評価がされている。今後は、具体的な取り組みを通じて、有効になるネットワークづくりへの提案や働きかけなどに期待したい。  (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。  ① た設が有する機能を地域に還元している。  ① 施設の本でした。  ② 施設が有する機能を地域に還元している。  ② 施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。  □施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。  □施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
取組を行っている。  □地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。  童相談所、小中学校、警察、関係医療機関などとは定期的に懇談して連携に努められている。関係機関名簿は化されており、職員間で共有されている。しかし、関係機関との連携は形式的な側面が強く、ネットワークと体的に機能しているとは思われないとの自己評価がされている。今後は、具体的な取り組みを通じて、有効にるネットワークづくりへの提案や働きかけなどに期待したい。  (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。  □施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。  □施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
カ、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。 コメント】 童相談所、小中学校、警察、関係医療機関などとは定期的に懇談して連携に努められている。関係機関名簿は化されており、職員間で共有されている。しかし、関係機関との連携は形式的な側面が強く、ネットワークと体的に機能しているとは思われないとの自己評価がされている。今後は、具体的な取り組みを通じて、有効にるネットワークづくりへの提案や働きかけなどに期待したい。  (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。  「1 26 施設が有する機能を地域に還元している。  「1 位施設のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。  「応設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。  「施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
<ul> <li>董相談所、小中学校、警察、関係医療機関などとは定期的に懇談して連携に努められている。関係機関名簿は化されており、職員間で共有されている。しかし、関係機関との連携は形式的な側面が強く、ネットワークと体的に機能しているとは思われないとの自己評価がされている。今後は、具体的な取り組みを通じて、有効にるネットワークづくりへの提案や働きかけなどに期待したい。</li> <li>3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</li> <li>②6 施設が有する機能を地域に還元している。</li> <li>□施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。</li> <li>□施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。</li> </ul>
1 26 施設が有する機能を地域に還元している。  □施設のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。  □施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。  □施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
26 施設が有する機能を地域に還元している。  □施設のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。  □施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。  □施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
□施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。 □施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
開催して、地域へ参加を呼びかけている。  □施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民の ためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援 活動を行っている。
ためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援 活動を行っている。
口災害時の地域における役割等について確認がなされている。
i
口多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに 貢献している。
コメント】
証設のホールを地域の子育て支援事業に開放している。また、施設が高台に設置されていることから、平成16年はの学区と一時避難所の協定を、また24年には名古屋市との福祉避難所の協定を締結している。27年には地下水はかられるでは、水の供給を自己完結型にしたことに伴い、有事の際に地域向けの水の供給を行える体制にしている。今後は、本施設の伝統ある児童の養育の積み重ねを、地域社会に還元する取り組みについても、実はいて進められることに期待したい。 ② 27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。
□施設の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
ロ民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉 ニーズの把握に努めている。
□地域住民に対する相談事業を実施することなどを通じて、多様な相談に応じる 機能を有している。
口関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。 
I - I -
る。 ロ把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらな

# Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援	hh —
(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果
① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつた めの取組を行っている。	а
口理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員 が理解し実践するための取組を行っている。	
口子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、 員が理解し実践するための取組を行っている。	
口子どもを尊重した養育・支援実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	
口子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	
ロ子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	
【コメント】 施設独自の「倫理綱領」が策定されており、職員への周知が図られている。また、毎年見直しが図られていの手引き」にも、子どもを尊重した支援について謳われている。さらに、研修等の機会を通じても職員へのめるなど、組織として徹底した対応がとられている。	
② 29 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援の 実施が行われている。	b
□子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	
口子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	
口子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、子どものプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニニアル等について、職員に研修を実施している。	
ロー人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子とものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	
ロ子どもや保護者等にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。	` O
□規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。 	0
□不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。	0
【コメント】 施設では権利擁護委員会を立ち上げ、様々な課題に対して具体的な取り組みを実施している。また、施設内 らず名古屋市の権利擁護委員会の長を務めるなど、名古屋市の児童福祉全体の底上げにも貢献されている。 ては、さらなる質の向上に向けた取り組みを目指しているため、今後に期待したい。	
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	
① 30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極 的に提供している。	b
□理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。 	
口施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	. 0
口施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別にていねいな説明を実施している。 	
□見学等の希望に対応している。 	
□子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。 【コメント】	O
児童相談所立ち会いの下で、手順に添って主任やリーダーが説明している。個々の状況に応じて説明されて 職員による伝え方の差をなくしていくことが今後の課題ということであり、明文化した資料を作成されるな	
向けた取り組みに期待したい。	

	2	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやす く説明している。	b
		口養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	0
		□養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等がわかりやすいように 工夫した資料を用いて説明している。	0
		□説明にあたっては、子どもや保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	0
		□養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでそ の内容を書面で残している。	0
		口意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な 説明、運用が図られている。	
の細かいルールまで	は決まってい	られている。伝える内容や手順は決まっているものの、意思決定が困難な ない。現状では差し迫って必要性を感じていないと思われるが、様々なケ けた今後の検討、策定等に期待したい。	
	3	32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に	b
		配慮した対応を行っている。 口養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じ	0
		ないように配慮されている。 □他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順	0
		と引継ぎ文書を定めている。	
		口施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者	$\bigcirc$
- 12 13		□施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者 や窓口を設置している。 □ □ 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者に ついて説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	0
立支援に対応する専 れ、職員への周知も	図られている	や窓口を設置している。	: して残
立支援に対応する専 れ、職員への周知も も明文化されるよう	図られている。な対策の検討	や窓口を設置している。	: して残田につい
立支援に対応する専 れ、職員への周知も も明文化されるよう	図られている	や窓口を設置している。	: して残
立支援に対応する専 れ、職員への周知も も明文化されるよう	図られている。 な対策の検討	や窓口を設置している。	こして残田につい 第三者 評価結果
立支援に対応する専れ、職員への周知も も明文化されるよう	図られている。 な対策の検討	や窓口を設置している。	まして残 田につい 第三者 評価結果 b
立支援に対応する専 れ、職員への周知も も明文化されるよう	図られている。 な対策の検討	や窓口を設置している。	: して残 田につい 第三者 評価結果 b
立支援に対応する専れ、職員への周知も も明文化されるよう	図られている。 な対策の検討	や窓口を設置している。	第三者果り
れ、職員への周知も も明文化されるよう	図られている。 な対策の検討	や窓口を設置している。  □施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。  にかなりの頻度でアフターケアが実施されており、細部についても記録と。退所後の不安を少しでも解消できるように、アフターケアの内容や詳細に期待したい。  多めている。  33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。  □子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。  □子どもの本の個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。  □職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。  □職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	ませる ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (

	(1)	
	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している	s. a
	口苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置 員の設置)が整備されている。	置、第三者委
	□苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資業 保護者等に配布し説明している。	料を子どもや
	□苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子ども が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	や保護者等
	□苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管してい	いる。
	□苦情内容に関する検討内容や対応策については、子どもや保護 フィードバックしている。	者等に必ず 〇
	□苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た子どもや保護者等にで、公表している。	配慮したうえ
	□苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組かる。	「行われてい 〇
見箱の設置、第三者委員 らや保護者への周知も図	こよる会議の開催、全体への説明など苦情解決の仕組みや体制は確立で られている。	されており、子ども
Γ	② 35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども している。	等に周知 a
		自由に選べ
	ることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
	ることをわかりやすく説明した文書を作成している。 	
メント]	□子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示	まする等の取 ○
もの満足度調査と同様	ロ子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示組を行っている。	まする等の取
もの満足度調査と同様	□子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示組を行っている。 □相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配成 子どもからの意見を吸いあげる仕組みがあり、その事が子どもたちだま、主任など誰にでも相談できるなど子どもたちが相談しやすい環境 =	まする等の取
もの満足度調査と同様	□子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示組を行っている。 □相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配成 子どもからの意見を吸いあげる仕組みがあり、その事が子どもたちだま、主任など誰にでも相談できるなど子どもたちが相談しやすい環境 = 3 36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対る。 □相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討	まする等の取 () () () () () () () () () () () () ()
もの満足度調査と同様	□子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示組を行っている。 □相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配成 子どもからの意見を吸いあげる仕組みがあり、その事が子どもたちだま、主任など誰にでも相談できるなど子どもたちが相談しやすい環境 =	まする等の取 () () () () () () () () () () () () ()
もの満足度調査と同様	□子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示組を行っている。 □相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配成 子どもからの意見を吸いあげる仕組みがあり、その事が子どもたちしま、主任など誰にでも相談できるなど子どもたちが相談しやすい環境 会 36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対る。 □相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討定めたマニュアル等を整備している。	まする等の取
もの満足度調査と同様	□子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示組を行っている。 □相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配成 子どもからの意見を吸いあげる仕組みがあり、その事が子どもたちだま、主任など誰にでも相談できるなど子どもたちが相談しやすい環境 = □相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検言定めたマニュアル等を整備している。 □対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 □対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 □職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすぐ	まする等の取
きることではまた。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	□子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示組を行っている。 □相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配成 子どもからの意見を吸いあげる仕組みがあり、その事が子どもたちだま、主任など誰にでも相談できるなど子どもたちが相談しやすい環境 = □相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討定めたマニュアル等を整備している。 □対応マニュアル等を整備している。 □対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 □対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 □対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 □対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 □対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 □満員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすべかすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。 □意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握	まする等の取
1メント】 ごもの満足度調査と同様	□子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示組を行っている。 □相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配成 子どもからの意見を吸いあげる仕組みがあり、その事が子どもたちに土、主任など誰にでも相談できるなど子どもたちが相談しやすい環境 = 1 日談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検言定めたマニュアル等を整備している。 □対応マニュアル等を整備している。 □対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 □職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやするかすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。 □意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握行っている。 □職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合	まする等の取

(5) 安心・安全	な養育・支援	の実施のための組織的な取組が行われている。	第三者 評価結果	
	1	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント 体制が構築されている。	b	37
		□リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	0	
		□事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、 職員に周知している。	0	
		□子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	0	
		□収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防 止策を検討・実施する等の取組が行われている。		
		□職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	0	
		□事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見 直しを行っている。	0	
りの数のヒヤリハット	が出されており	を行い、全体の中でも情報を共有化するなど職員への周知が図られているり、職員の気づきや出しやすい環境にあることは優れているが、分析・電 事例の統計、要因分析、再発防止などの取り組み強化に期待したい。		
	2	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を 整備し、取組を行っている。	b	38
		□感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	0	
		□感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	0	
		□担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等 を開催している。		
			0	
		□感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。 	0	
		口感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	0	
種なども含めて、健康	係を中心に取り	アドバイスなどを基に、予防や対応などについて適切に対処されている。 り組みされているが、集団生活でのリスクを踏まえて全職員への意識啓覚され、さらなる安全確保に努められたい。		
	3	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	39
		口災害時の対応体制が決められている。	0	
		□立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、養育・支援を継続するために必要な対策を講じている。	0	
		□子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	0	
		□食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	0	
		□防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	0	
【コメント】 火災 地震など様々な	白妖災宝を相写	Eした具体的な対応マニュアルが整備されており、備蓄品の準備も適切 <sup>-</sup>	である	
さらに、地下水濾過シ ついても明文化されて	ステムが整備 <i>る</i> おり、地域との	Eした具体的な対応マーエアルが登備されてあり、備蓄品の学備も適切 され施設だけでなく、地域への供給も可能となっている。「普段からの値 D合同訓練なども実施されている。今後は、「地域小規模児童養護施設∂ 描等についても期待したい。	備え」に	

2	養育	支摇	ത	啠	ത	確	保

	(1)	施方法が確立している。	第三者 評価結果	4
	U	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b	۱
		口標準的な実施方法が適切に文書化されている。	$\circ$	
		□標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	0	
		□標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。		
		□標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	0	
に対する標準的な養育方法	法がやや不士 ことが望まし	を援方法が明記されており、高い水準での養育・支援が行われているが、 ト分である。基本的生活習慣を身につけていくためにも、幼児期からの様 い。また、職員による差やユニット間の差をなくすためにも、定期的な	票準的な	
Γ	2	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	١.
		□養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施 設で定められている。	0	
		口養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。	0	
		口検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	0	
		口検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕 組みになっている。	0	
		- □標準的な支援方法も見直されているが、基本となる生活支援に関するも □とや職員間での周知徹底が望まれる。	ものなの	
(2) 適切なアセ <u>ス</u>	メントによ	り自立支援計画が策定されている。		1
	1	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b	١,
		다스 수 부 [편집] 공상 다 의로 ( 포스 카 프 L 코 ) - 7		1
		口自立支援計画策定の責任者を設置している。	0	
		口目立又接計画末定の責任者を設直している。 	0	
		□アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 □のである。 □のでは、できまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者		
		□アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 □部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	0	
		□アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 □部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。 □自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。 □自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ	0	

			1
2	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b	43
	口自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子 どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	0	
	□見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	0	
	口自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。		
	□自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	0	
	・ 仕組みや手順が定められており、適切に実施されている。ただし、該当するための手順等は確立されておらず、今後はその仕組みづくりや見直しの。		
(3) 養育・支援の実施の記録	録が適切に行われている。 		
1	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化さている。	b	44
	口子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し 記録している。	0	
	口自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認する ことができる。	0	
	□記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成 や職員への指導等の工夫をしている。		
	口施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届 くような仕組みが整備されている。	0	
	口情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	0	
	口パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施 設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	0	
ト間でも共有できるようにネットワ	項などの留意点が「指導の手引き」に明文化されており、子どもの状況で 一ク化も整備されている。ただし、記録内容等に職員格差が生じている。 会などの開催や定期的な振り返りの機会が望まれる。		
2	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	45
	口個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に 関する規定を定めている。	0	
	□個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。		
	□記録管理の責任者が設置されている。	$\circ$	ł
	口記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。		
	□職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	$\circ$	1
<i>I</i> =43.13	□個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	0	
【コメント】  個人情報保護方針についてはホーム	ページ上にも明記されており、職員にも周知されている。ただし、具体的	付な取り	
扱いに関して職員間で差が生じない	ように、事例も交えて周知していくことが望まれる。特に、携帯電話やバ 文化され、職員へ周知していくことも検討されたい。	パソコン	

□ 内	- 1 子ども本位の養育・支援		
(1) 子どもの尊重と最善の利		第三者 評価結果	
1	A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員 が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	а	<b>A</b> 1
	□養育・支援の内容が子どもにとって最善の利益になっているかを、振り返り検証 する機会が設けられている。	0	
	□子どもの養育や成長にとって何が最善なのかを、職員間において常に話し合え る環境にある。	0	
	□職員が日々子どもとのやり取りを振り返り、必要に応じてスーパービジョンを受けられる環境が整っている。	0	
	□受容的・支持的なかかわりを基本としながらも、養育者として伝えるべきメッセージはきちんと伝えるなど、子どもの状況に応じて適切な対応ができるよう、常に子どもの最善の利益を考慮し真摯に向き合っている。	0	
の利益と権利擁護が記され職員への めに、職員や子どもへ聞き取り、職	の最善の利益」を最優先にした養育の展開が明記されており、基本方針  周知が図られている。また、日々の支援において実践されているかを確 員へ助言を行うスーパーバイズ体制が確立されている。さらに、子どもの 擁護委員会において検討されているなど積極的な取り組みがされている。	認するた の最善利	
2	A2 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	b	A2
	□子どもの発達段階等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。	0	
	□事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。	0	
	□伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	0	
	口事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを 行っている。		
基本的には旅立ち前としている。子 される事が望ましい。	児童相談所と連携し告知している。タイミングとしてはケースバイケー: どもから要望があった時の対処や告知後のフォロー体制の確立などにつ!	スだが、 ハて検討	
(2) 権利についての説明			
(1)	A3 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやす く説明している。	b	<b>A</b> 3
	□定期的に全体の場で権利についての理解を深めるよう、子どもたちに説明している。	0	
	□権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、施設生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。		
	□年齢に配慮した説明を工夫している。(例えば高校生、中学生、小学生などに分けた説明の機会)		

【コメント】 子どもの権利擁護について理解を深めるための職員研修は、積極的に参加されている。ユニット毎や全体の中でも説明する機会は設けてある。今後は、事例なども交えた具体的な資料や子どもたちの年齢や理解力に応じた説明資料の作成なども検討され、権利や社会のルールなどの正しい理解に向けた取り組みに期待したい。

口定期的に職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。

口子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないことまた、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。

 $\bigcirc$ 

(3) 他者の尊重				
	1	A4 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への 心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a	A4
		口基本的な信頼感を獲得するなど良好な人間関係を築くために職員と子どもとが 個別的にふれあう時間を確保している。	$\circ$	
		□喧嘩など子ども間でトラブルが生じた場合、相手の人格を尊重しながら、基本的には子ども同士で関係を修復できるよう支援をしている。	$\circ$	
		□日々の生活や行事等で、子どもが協働して行う場面では、助け合い、認め合い、協力し合い、感謝し合う態度を促進するよう支援している。	0	
		□年下の子どもや障がいのある子どもなど弱い立場にある仲間に対しては、思いやりの心をもって接するように支援している。	$\circ$	
【コメント】		<u>i</u>		1
できた。また、中高校 じた。施設としては、 援による成果として、	生が小学生をし 子どもたちとの 子どもたち同:	数の子どもたちが年下の子どものことを心配したり、気にかけていること いたわる場面等も確認できるなど、他者への配慮する気持ちは養われてし の個別に関わる機会が十分でないという反省もあるが、日常の様々な場面 士の思いやりの心が育っている。	いると感	
(4) 被措置児童				
	1	A5 いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為 を行わないよう徹底している。	а	<b>A</b> 5
		□「就業規則」等の規程に体罰等の禁止を明記しており、規程に基づいて厳正に 処分などを行う仕組みが行われている。	$\circ$	
		□被措置児童等虐待防止ガイドラインに示されているような具体的な例を示して、 日常的な会議や研修会等で体罰等を禁止している。	$\bigcirc$	
		口被措置児童等への虐待行為や不適切対応があった場合、主管行政窓口や児童相談所等に報告するとともに第三者委員等も入れて適切な調査をし、対処することが出来ている。	0	
知徹底も図られている	。また、有事の	には、体罰禁止や子どもの人権侵害禁止について明確に謳ってあり、職員 D際には、職員1人での対応では問題も生じやすいことから、複数対応を れたマニュアルも整備されている。		
	2	A6 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b	A6
		□不適切なかかわりがあった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその 原因や方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳 正に処分を行うような仕組みがつくられている。	0	
		□不適切なかかわりを発見した場合には、記録し、必ず施設長等に報告すること が明文化されている。	$\bigcirc$	
		□暴力、人格的辱め、心理的虐待などの不適切なかかわりの防止について、具体的な例を示し、職員に徹底している。		
		□不適切なかかわりの防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	0	
		□不適切なかかわりの防止について、具体的な例を示して、子どもに周知している。	0	
		ロ子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けている。	0	
【コメント】				]
るなど職員個々への周	知や理解を深め	別・虐待禁止、人権侵害の防止などが明記され、職員会議においても話し める取り組みが行われている。また、実習生など外部からの声も取り上げ こ努めている。今後は、何をもって「不適切」だと判断するのか、より具	げ、様々	

		·	
	3	A7 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ 誠実に対応している。	b
		口被措置児童等虐待の届出・通告制度について、対応マニュアルが整備され、かつ日常的に活用できるようにしている。	0
		口被措置児童等虐待の届出・通告があった場合に、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	0
		口被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の 意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができている。	0
		□被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、 説明しているとともに、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	0
コメント】			
- どもたちへの説明に 生時の対応や子ども	への聞き取り	利ノート」を活用し行っている。施設として「虐待対応マニュアル」を整 方法なども記されており、職員への周知も図られている。ただし、「被措 ついての周知は十分とはいえず、全職員への浸透を望みたい。	
(5) 思想や信教	め自由の保障		
	1	A8 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	а
		口子どもの思想・信教の自由については、最大限に配慮し保障している。	0
		口施設において子どもの思想や信教の自由を保障しようと努めているが十分では ない。	0
		□保護者等の思想・信教によってその子どもの権利が損なわれないよう配慮している。	0
【コメント】		<u>.                                    </u>	
;り、様々なイベント	・や行事の開催	、施設の倫理綱領には宗教や文化的背景の違いを認め尊重することが明記、参加も自由であり保障されている。 、参加も自由であり保障されている。 、の配慮	:enc
	1	A9 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	b
		口入所した時、温かく迎える準備をしているなど様々な工夫を凝らし、受け入れに ついて施設全体で行っている。	
		口被虐待体験だけでなく、子どもの分離体験に関して施設側が理解し、配慮している。	0
		□分離体験からの回復に関する課題への具体的な取組を行っている。 	
		口入所の相談から施設での生活が始まるまで、子どもや保護者等への対応についての手順を定めており、定期的に見直しを行い、実践している。	$\bigcirc$
<b>ニメント1</b>			0
【コメント】 「設としては児童相談	と連携し、 <i>を</i>	いての手順を定めており、定期的に見直しを行い、実践している。	
記としては児童相談 る。ただ、全体の中	『での紹介や入	いての手順を定めており、定期的に見直しを行い、実践している。 個別に応じた対応がとられており、各ユニット毎で子どもを温かく迎える 所までの対応手順は明確に定まっておらず、ケースに応じた対応となって	体制に
設としては児童相談 る。ただ、全体の中	『での紹介や入	いての手順を定めており、定期的に見直しを行い、実践している。 個別に応じた対応がとられており、各ユニット毎で子どもを温かく迎える	体制に
設としては児童相談 る。ただ、全体の中	『での紹介や入	いての手順を定めており、定期的に見直しを行い、実践している。 個別に応じた対応がとられており、各ユニット毎で子どもを温かく迎える 所までの対応手順は明確に定まっておらず、ケースに応じた対応となって	体制に

1	•		1
(2	A10 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	b	A10
	□生活改善に向けての取組を職員と子どもが共に考え、実施している。	$\circ$	
	口生活日課や生活プログラムは子どもとの話し合いを通じて策定している。	$\circ$	
	ロ子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会 を日常的に確保している。		
ある。アンケートやヒアリンク	ウ子ども会議などの開催により、子どもの意見・要望を聞いたり性教育の機会を がにおいても、子どもたちから大きな不満も聞こえてこず、ある程度納得した生 引評価にも記載されているように、子どもたちが主体的、自発的に運営していた 食討されたい。	E活が送	
(7) 主体性、自律性を	尊重した日常生活		
(1	A11 日々の暮らしや、余暇の過ごし方など健全な生活のあり方について、子ども自身が主体的に考え生活できるよう支援している。	b	<b>A</b> 11
	ロー人ひとりの子どもの趣味や興味、生活文化にあった生活になるように子ども の意見を反映させ、適宜改変している。	$\circ$	
	□図書、雑誌、新聞等、またテレビ、ビデオ、オーディオ等が、子どもの健全な発達 に考慮したうえで、自由に使用できる。また、ゲームの適切な使用の配慮がされて いる。	0	
	口子どもが主体的に生活に関わることができるよう工夫がされている。 		
	口活動に対して自発的な参加を促すよう支援している。 	$\circ$	
	口行事等の参画について、子ども一人ひとりの選択を尊重している。	0	
	□子どもが地域の活動等に参加することを望む場合、可能な限りそれに応えている。	$\circ$	
【コメント】			1
たちの自己肯定感や社会性を高	の行事の参加など、子どもたちの自主性を尊重した対応がとられている。また、 高めていくことを、施設の課題のひとつとして取り上げ、実践に結びつけていく 株な環境の中で、生活全般に対する主体性をいかに養っていくのか、組織として	姿勢に	
(2	A12 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	b	A12
	口小遣い帳や通帳を使って、限られたお金を計画的に使用する、金銭の自己管理 ができるよう支援している。	0	
	口大人と一緒に買物に行ったり、一人で買物をさせるなど物の値段の相場や、金 銭感覚が身につくよう支援している。	0	
	口自立を控えた子どもなど、必要な子どもに対し、一定の生活費の範囲で生活することを学ぶプログラムを実施している。	0	
	口児童手当等について、子どもの目的にあわせ適切に使用または貯蓄をしている。	$\circ$	
【コメント】	- 日の小字い佐田にのいては、古尚はいしは医別旧立に佐田ナドロフはかした。	ナル	Ĭ
る。また、アルバイト可能な高 要な生活費などの知識・情報に	展月の小遣い管理については、中学生以上は原則児童に管理を任せる体制となっ 高校生については、自立資金のための貯金にむけた支援を行っている。自立した は、担当やユニット職員を中心に説明している。今後は、より実践的な体験に向 に向けた支援に努められたい。今年度から配置された自立支援担当職員の活躍に	ニ際に必 引けたプ	

(8) 継続性とアフ ┏	(1)	A13 家庭復帰にあたって、子どもが家庭で安定した生活が送ること	
		ができるよう復帰後の支援を行っている。	b
		口家庭復帰にあたって復帰後の生活を検討している。	$\circ$
		□家庭復帰後の子どもや家族の状況把握や支援方法など関係機関との役割を明確にしている。	0
		□家庭復帰相談を受けることを本人、保護者等に伝えている。	0
		口家庭復帰後の子どもや保護者等の状況の把握に努め記録を整備している。	0
幾関と協議し、家庭復	帰後の支援	ことができるよう家庭支援専門相談員と担当職員が中心となり、児童相談 を行っている。家庭復帰後再入所となったケースは事前のアセスメント不 め、今後の課題と捉え取り組んでいかれることに期待したい。	
Γ	2	A14 できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続 や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	С
		口高校進学が困難な子どもや高校中退の子どもなどについて措置継続を行い、 自立に向けた支援を行っている。	0
		□措置延長の期間は、就労支援や就労生活を支援するなど、自立への道筋をつ	
		けていく取組を行っている。	
、高校進学が困難な子	どもや高校	□高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。 措置継続や措置延長の事例は本人希望も含めて殆ど無いのが現状である。 中退の子どもについて、措置継続を行いニーズを把握し社会に対応できる	
設備がある企業への就 、高校進学が困難な子。	どもや高校	口高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。 措置継続や措置延長の事例は本人希望も含めて殆ど無いのが現状である。	
g備がある企業への就 高校進学が困難な子	どもや高校	□高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。 措置継続や措置延長の事例は本人希望も含めて殆ど無いのが現状である。 中退の子どもについて、措置継続を行いニーズを把握し社会に対応できる	
g備がある企業への就 高校進学が困難な子	どもや高校 高校卒業後 	□高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。  措置継続や措置延長の事例は本人希望も含めて殆ど無いのが現状である。中退の子どもについて、措置継続を行いニーズを把握し社会に対応できるの措置延長は、大学進学等を含め積極的な取り組みが期待される。  A15 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービング	ような
g備がある企業への就 高校進学が困難な子	どもや高校 高校卒業後 	□高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。  措置継続や措置延長の事例は本人希望も含めて殆ど無いのが現状である。中退の子どもについて、措置継続を行いニーズを把握し社会に対応できるの措置延長は、大学進学等を含め積極的な取り組みが期待される。  A15 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。  □子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っ	b
と備がある企業への就 高校進学が困難な子	どもや高校 高校卒業後 	□高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。  措置継続や措置延長の事例は本人希望も含めて殆ど無いのが現状である。中退の子どもについて、措置継続を行いニーズを把握し社会に対応できるの措置延長は、大学進学等を含め積極的な取り組みが期待される。  A15 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。  □子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。  □退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えてい	b (
と備がある企業への就 高校進学が困難な子	どもや高校 高校卒業後 	□高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。  措置継続や措置延長の事例は本人希望も含めて殆ど無いのが現状である。中退の子どもについて、措置継続を行いニーズを把握し社会に対応できるの措置延長は、大学進学等を含め積極的な取り組みが期待される。  A15 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。  □子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。  □退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。	b ○
g備がある企業への就 高校進学が困難な子	どもや高校 高校卒業後 	□高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。  措置継続や措置延長の事例は本人希望も含めて殆ど無いのが現状である。中退の子どもについて、措置継続を行いニーズを把握し社会に対応できるの措置延長は、大学進学等を含め積極的な取り組みが期待される。  A15 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。  □子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。  □退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。  □退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。  □行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを	b
g備がある企業への就 高校進学が困難な子	どもや高校 高校卒業後 	□高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。  措置継続や措置延長の事例は本人希望も含めて殆ど無いのが現状である。中退の子どもについて、措置継続を行いニーズを把握し社会に対応できるの措置延長は、大学進学等を含め積極的な取り組みが期待される。  A15 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。 □子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。 □退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。 □退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。 □は所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。 □行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。 □本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等	b ○ ○ ○

Δ	- 2	養育		支援(	ന	啠	ത	確化	귲
~	_		_	X 16 1	"		v	'U# 12	$\mathbf{x}$

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
	1) A16 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け 止めている。	b
	口職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解 し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。	0
	ロ子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。	0
	□子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。	· I
	口子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。	0
	□子ども達に職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。	0
と面接を行い、意見や要望	ケート結果からも、子どもたちからの信頼を得られている状況が伺える。現在 を把握して子どもの理解に努めている。施設として今後はアンケート実施後に 向き合った支援を行うなどの、前向きな取り組みも検討しているとのことで、 寺したい。	固別面接
	2 A17 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを 通してなされるよう養育・支援している。	b
	ロ子ども一人ひとりの基本的欲求を把握している。	0
	□基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。	0
	口高齢児の日課は、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。	0
	口子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。	0
	□基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別的に触れ合う時間を 確保している。	0
	口夜目覚めたとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。	
ている。夜間、幼児は、ふす	ト時間なども含め秩序ある生活の範囲内で、子どもの意思を尊重した柔軟な日まで職員とは区切られた空間となり、目覚めた時に大人を求めて泣くこともあいという課題を感じており、課題改善に向けた体制の検討が望まれる。	
	3 A18 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	b
	口子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が 行うように見守ったり、働きかけたりしている。	0
	□職員は必要以上の指示や制止をしていない。	0
	- □子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等	0
	の声かけを適切に行っている。	
		0
	の声かけを適切に行っている。  口つまずきや失敗の体験を大切にし、主体的に問題を解決していくよう支援し、必	0

	·		1
4	A19 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	b	<b>A</b> 1
	口施設内での保育が、年齢や発育状況に応じたプログラムの下、実施されている。		
	□日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握できている。 必要性があれば可能な限りニーズに応えている。	0	
	□幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	0	
	□学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報 交換ができている。	0	
	ロ子どものニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされて いる。	0	
	ロ幼稚園に就園させている。	$\circ$	
	ロ子どもの学びや遊びを保障するための、資源(ボランティア等)が充分に活用されている。	0	
の良い日は乳幼児向けの遊具のある	いるが、諸事情により入園できない子もいるため、施設内で保育している 公園に連れて行くなど、遊びが楽しめる養育が行われている。ただし、別 期の発達に応じた保育プログラムの策定や、グループ分けなどによる小∮ と思われる。	施設で保	
(5)	A20 秩序ある生活を通して、基本的生活習慣を確立するとともに、 社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援 している。	a	A2
	口職員の指示や声かけが適切で、施設全体が穏やかな雰囲気で秩序ある生活が 営まれている。	0	
	□普段から、職員が振る舞いや態度で模範を示している。	0	
	口施設生活・社会生活の規範等守るべきルール、「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解できるよう子どもに説明し、責任ある行動をとるよう支援している。	0	
	口見やすくわかりやすい掲示物など、子どもが社会生活を営む上での必要な知識 や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	$\bigcirc$	
	□地域社会への積極的参加を図る等、社会的ルールを習得する機会を設けている。	0	
しても子どもたちは秩序ある生活の ルール等を、穏やかに子どもへ説明 員も役員を毎年行うなど、地域の中	生じているのではないか、という自己分析もされているが、様々な視点が中ですごしている。職員は気づいた時点で、すぐに子どもたちに守るべきしている姿も確認できた。また、子どもたちは全員地域の子ども会活動ににおいても積極的な取り組みが見られる。	を社会の	
(2) 食生活	A21 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	а	A2
	□食事の時間が適切で、食事を通して生活のリズムが形成されている。	0	
	 □無理なく楽しみながら食事ができるように、年齢や個人差に応じて食事時間に 配慮している。	0	
	□食事場所は明るく楽しい雰囲気で、常に清潔が保たれている。	0	
	□食事の時間が、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として 機能するよう工夫している。	0	
	□陶器の食器等を使用したり、盛りつけやテーブルの飾りつけの工夫など、食事をおいしく食べられるように工夫している。	0	
	ロクラブ活動等子どもの事情に応じて、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく という食事の適温提供に配慮している。	0	
		0	
【コメント】			
調査の中でも確認することが出来た	中で楽しく食事をする風景は家庭的であり、職員の配慮が行き届いている。色どりやメニューの工夫、量も十分に提供されており、味付けも好評では自分の好きなスイーツを買い、お祝いをすることが子どたちの楽しみと	<b>ごあっ</b>	

			1
2	A22 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	b	],
	□配慮のこもった献立であるとともに子どもの発育に必要な栄養摂取量を満たした食事を提供している。	0	
	□定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが 献立に反映されている。	0	
	□子どもの年齢、障害や疾病、食物アレルギーなど子どもの心身の状況、また体調など日々の健康状態に応じ、それらに配慮した食事を提供している。		
	口少数の子どもを対象として家庭的な環境の下で調理するときであっても、配慮 のこもった献立であり栄養面も勘案されるよう、献立について振り返る機会があ る。	0	
考えられ、誤食が命の危険につなる	セスメントなどで丁寧に行われている。アレルギー疾患を持つ子は今後も がることもあり、最善の配慮が更なる課題と思われる。2歳児も含めた乳 では食べにくさを感じるものもあり、幼児の人数も多いため、年齢に応じ	幼児に	<b>T</b>
3	A23 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	b	1
	口食習慣の習得を、無理なく楽しみながら身につけられるよう工夫している。	$\circ$	
	□日々提供される食事について献立の提示等食に関する情報提供等を行っている。	0	
	□食品分類やおやつの摂り方等、栄養についての正しい知識を教えている。 		]
	口偏食の指導を適切に行っている。 	0	1
	口郷土料理、季節の料理、伝統行事の料理などに触れる機会をもち、食文化を継  承できるようにしている。 	0	l
	口買い物を手伝って材料の選び方を知る機会を設けている。 	0	l
	口箸、ナイフ・フォーク等食器の使い方や食事のマナーが習得できるよう支援している。 	0	
	□基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつを作る機会を設けている。	0	
	□テーブル拭き、食器洗い、食器消毒、残飯処理など食後の後片づけの習慣が習得できるよう支援している。	$\circ$	
がは子どもたちも一緒に買い物に行 ある。食品についての知識を得たり、	制ではなく、お手伝いという形で子どもたちが率先して行っている。小規 く機会は持たれているが、本体施設では小学生以下の子どもたちは難しし、 、季節の食材などに触れる機会を多く持ちながら、食育の推進に期待した	\状況に	
(3) 衣生活 ①	A24 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じ	b	Ī
	て適切に自己表現できるように支援している。  □常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	0	
	  口汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、  十分な衣類が確保されている。	0	1
	口靴についても清潔で体にあったものが提供され、汚れや水濡れにも適切に対応 している。	0	1
	□気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣 習慣を習得させている。	0	
	口洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮 している。	0	
	口衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。 	$\circ$	
	口発達段階や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	0	
、天気により各部屋、ベランダな	十分確保されている。洗濯は、中学生、高校生は自分たちで適切に行われ どで干せるようになっている。子ども自身のこだわりにより、同じ洋服ヤ Dに合わせた服装ができるように更なる支援が求められる。		

(4) 住生活				1
	1	A25 居室等施設全体がきれいに整美されている。	b	A2
		□庭がきれいに清掃され、樹木や草花の植栽にも配慮が届いている。	$\circ$	
		□室内は明るく、花や絵画が飾られるなど、温かみのある環境になっている。	0	
		□食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になる よう配慮している。	0	1
		□トイレ、洗面所等は性別や年齢に応じて使いやすいように配慮している。	0	
		□必要に応じて、冷暖房設備を整備している。	0	
		□設備や家具什器について、汚れていたり壊れていたりしていない。破損箇所に ついては必要な修繕を迅速に行っている。	0	
		□発達段階や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。		
る。破損箇所も早めに対	が処し、危険(	明にきている箇所も多いが、比較的規模が大きな修繕等は計画的に進めら のないよう適切に整備されている。居室の清掃、片付けは子どもの自主性	性に任せ	
ており、子どもにとって けに期待したい。	過ごしやすい	い空間となっている。子どもの自主性を尊重しながら、整理整頓に対する 	意識づ	
	2	A26 子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	b	A2
		□小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	$\circ$	
		□リビングや居室は子どもが安心していられる場所になるような配慮がされている。	0	
		□中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	0	
		□年少児の居室は、職員の目の届きやすいところに配置している。	0	
		でも十分過ぎるほどのスペースがある。地域小規模施設は一般住宅ため、 も居るため安全面や職員との距離という点では更なる安心安全を目指した		]
必要である。 (5) 健康と安全				1
	1	A27 発達段階に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について 自己管理ができるよう支援している。	b	A2
		□常に良好な健康状態を保持できるよう、睡眠、食事摂取、排泄、生理等の状況 を職員がきちんと把握している。	0	
		□手洗いやうがいの習慣が身に付くよう支援している。年少児については排泄後 の始末や入浴の介助をしている。	0	
		□洗面、整髪、ひげそり、歯磨き、つめ切り、耳そうじ等身だしなみについて、発達に応じて自ら行えるよう支援している。また必要に応じて入浴やシャワーが利用できるなどの配慮がされている。	0	
		□定期的に理美容をしている。	$\circ$	
		□寝具の日光消毒や衣類などを清潔に保つなど、衛生管理ができるよう支援している。また夜尿のある子どもについては、子どもの自尊心に配慮しながら支援している。	0	
		□施設内外における危険箇所等を把握し、子どもの発達段階に応じて、危険物の 取扱いや危険な物・場所・行為から身を守るための支援を行っている。	0	
			0	
【コメント】		!		1
うに、職員がついて道の また、幼児に関しては、	)危険個所を類 職員による1	反も多く、自転車のスピードも出やすいため、一定のスキルを身につけら めえている。検定試験を行い子どもを交通事故から守る取り組みを行って 食後の仕上げの歯磨き支援やシールによる排便確認を行っている。ただし 言えない面もあり、今後は把握方法の検討や体制の整備等に期待したい。	こいる。	

			1
2	A28 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を 管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	а	A28
	□子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	0	
	□あらかじめ関係機関の協力が得られるよう体制整備をしている。	$\circ$	
	□健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から 注意深く観察し、対応している。	0	
	□受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	0	
	口職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	0	
【コメント】	独体体性はもし トローマ 叶にももとしる ナゼーインフェ なの晩号に トフ 「」	ノ」立に	
有護師の配直はないが、谷城員が付別を月1回発行しトイレに掲示す 識啓発を図っている。医療機関との	健康管理はもとより、予防にも力を入れ支援している。係の職員による「ト ゙ることで、排便に対して興味を持たせ、排便習慣につなげるなど子どもた D連携も図られている。	・1 レ新 ちの意	
(6) 性に関する教育			į
①	A29 子どもの年齢・発達段階に応じて、他者の性を尊重する心を育 てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	а	A29
	口他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	$\circ$	
	口性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	$\circ$	
	口性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達段階に応じたカリキュ ラムを用意し、支援している。	0	
	ロ必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。	0	
会の他、主任を中心に職員が子ど:	への教育が重点的に行われ、定期的に専門家の先生による年齢・性別に分け もたちに研修を行っている。高年齢児に対しては性に関する様々な視点から こと、命につながる話まで幅広い内容となっている。「生と性」は子どもだ 置付けている。	、器	
(7) 自己領域の確保			
$\odot$	A30 でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするよう にしている。	b	A30
	ロ子どもが小さい頃から、自他の境界線がわかるような支援方法を心がけている。	0	
	口身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	0	
	□個人の所有物が保管できるよう個々にロッカー、タンス等を整備している。	0	
	口紛失防止のためにも、個々の子どもたちに片付け方を教えている。 	$\circ$	
	口個人所有の物は、でき得る限り子どもの好みを尊重している。 	0	
	口まだ字が読めない子どもに対しては、イラストマークを使用するなどして、所有物がわかる工夫をしている。記名やマークは、でき得る限り子どもからの許可を得、子どもが恥ずかしがらなくても済むような場所に留める。	0	
【コメント】	しこれものは、ほぼ何しせとした。マハフ・シ・シージャルようのではつ		
個人所有でいろいろなものが置かれ	ようなものは、ほぼ個人持ちとなっている。シャンプーなども個人の嗜好に れている。一般用と個人所有のものとの区別もわかりやすく置かれている。 品はきちんと鍵のかかるところで保管できるようになっている。個人所有物 管理できるような支援が望まれる。	個人所	

		•		1
	2	A31 成長の記録(アルバム等)が整理され、成長の過程を振り返る ことができるようにしている。	b	A31
		口子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集、整理に努めている。	0	
		□成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返ることができ、子どもの生い立 ちの整理につながっている。		
		□可能な子どもとは共に、成長の記録(アルバム等)を整理している。		
		□アルバム等は年齢や状況に応じて個人が保管し、子どもがいつでも見ることができる。	0	
		□子どもが施設を退所する時に、成長記録(アルバム等)が手渡されている。	$\circ$	
【コメント】				1
を貼るという行為は、 バムを整理されるなど 取り組みにも期待した	自分の成長を抗長をためる	され、整理された成長の記録はいつでも見ることができるようなっている 振り返る機会でもあり自己肯定感にもつながるので、今後は子どもと一解 幾会を設定されると良い。併せて、生い立ちの整理やライフストーリーワ	まにアル	
(8) 行動上の問	題及び問題状	紀への対応		Ī
	1	A32 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切 に対応している。	b	A32
		口施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	0	
		口施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動 上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その 都度、問題の影響を施設全体で立て直そうと努力している。	0	
		□不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。		
		口くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を 見つけ出そうと努力している。	$\bigcirc$	
きている。各フロアの 丁寧に話しをするなど 制や職員が孤立しない	担当者との協定の対応がとられなけれる	壬職員には対応が難しいケースもあり、すぐに応援に駆け付け対応するは 力や主任による繰り返しの話し合いなど、長いスパンでの解決を見越した れている。今後は職員のストレスや無力感に対応するためのスーパービシ 作りの強化も望まれる。併せて、子どもの怒りや暴力をコントロールする とで、行動の安定化を図る取り組みも行っていくと良い。	ょがら、 ジョン体	
	2	A33 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施 設全体で取り組んでいる。	b	A33
		口人権に対する子どもの意識を育むよう支援をしている。日頃から他人に対する 配慮の気持ちや接し方を職員が模範となって示し、子どもへ説明をしている。	0	
		□問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方に ついても点検を行っている。		
		□生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	0	
		□課題を持った子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	$\circ$	
		□大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合については、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	0	
【コメント】				Ĩ
		のの、職員の適切な支援もあり現状ではいじめや暴力などがない生活環境		
		、相手の命や気持ちを大切にすることなどは、機会があるごとに子どもだ。		
		間、風呂場等、死角となる部分も多くあるため、職員の目の届きにくい埠	<b>赤</b> かへの	
配慮は今後の課題と言	<b>える</b> 。			I

		•		1
	3	A34 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引取りの可能性がある場合、子どもの安全が確保されるよう努めている。	b	A34
		口強引な引取りのための対応について職員に周知徹底している。	0	
		口引取りの可否等について、児童相談所との連絡を適宜行い、判断が不統一に ならないようにしている。	0	
		□緊急時には協力を依頼できるよう、警察との連携を図っている。		
		口強引な引取りが考えられる場合、他の子どもへの安全についても配慮がされて いる。	$\circ$	
けた体制は十分とはいめて積極的な取り組み の連携体制などの検討	えない点もあいに期待したい もされると良	か所あり、応援を求めることができる仕組みはあるが、警察等との連携弦る。定期的な打ち合わせなどは難しいとは思うが、施設側からのアプロー。また近年は親の強引な引き取り、面会事例はないとのことであるが、すい。	-チも含	
(9) 心理的ケア				
	1	A35 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	b	A35
		口心理的な支援を必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援 プログラムが策定されている。	0	
		口施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で 有効に組み込まれている。		
		□心理的なケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが 行われている。	0	
		回必要に応じて心理の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	0	
		□心理的支援を行うことができる有資格者を配置し、心理療法室を設置している。	0	
		□児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を 行っている。	0	
【コメント】			-#1	
	もあり、会議	や面接療法は定期的に実施され、面談も行われている。心理士は非常勤で の場での子どもの課題及び支援目標の共有などは十分とは言えない部分も 題と言える。		
(10) 学習・進	学支援、進路	各支援等		1
	1	A36 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b	<b>A</b> 3
		口静かに落ち着いて勉強できるように個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	0	
		口学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	0	
		口学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。		
		口忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	0	
		□障害を持つ子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校 等への通学を支援している。	0	
【コメント】		<u> </u>		1
学習ボランティアなど		、学力をつけることに積極的に取り組んでいる。中・高校生は塾や家庭教		1
		学力に課題のある子どもへの個別支援や個別のカリキュラム、また教材を 学習支援などの強化についても今後期待したい。	で使った	
~ 1× C 1 C 0 V	コーエール・ひん			

	2	A37 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b
		□早い時期から進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収 集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	
		口進路選択に当たって、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画 に載せ、各機関と連携し支援をしている。	0
		ロ奨学金など進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報等も提供 している。	$\circ$
		口進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	$\circ$
		口中卒児・高校中退児に対して、就労させながら施設入所を継続することで十分 な社会経験を積めるよう支援している。	
		口高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて努力をしている。	$\circ$
んその子に合った進路を	模索し、高	6望に沿った高校へ進学している。発達に課題を持つ子どもたちも得意な 6校進学だけではなく、将来を見据えた職業選択につながる進路を探した 5等については自立支援担当職員を中心にした更なる取り組みが求められ	りして
	3	A38 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験 の拡大に取り組んでいる。	b
		口実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について 話あっている。	0
		□実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	0
		·	
		口実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。 	
		□実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。 	0
メント1			0
る。自動車免許の取得	も可能であ 実習を経験	□職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。 □アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。  ば様々なところでアルバイトをしており、社会経験、職場体験の機会にもある。今後の課題として、自己の進路決定に活かせるよう、子どもたちの食する企画の検討が望まれる。	恵まれ 要望に
生は法人内施設や近隣 る。自動車免許の取得 た、多様な職場体験や	も可能であ 実習を経験 この信頼関	□職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。 □アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。  □様々なところでアルバイトをしており、社会経験、職場体験の機会にもある。今後の課題として、自己の進路決定に活かせるよう、子どもたちの検する企画の検討が望まれる。  「係づくり  「A39 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	恵まれ
生は法人内施設や近隣 る。自動車免許の取得 た、多様な職場体験や	も可能であ 実習を経験 この信頼関	□職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。 □アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。  ば様々なところでアルバイトをしており、社会経験、職場体験の機会にもある。今後の課題として、自己の進路決定に活かせるよう、子どもたちの検する企画の検討が望まれる。  係づくり  A39 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に	恵まれ 要望に
生は法人内施設や近隣 る。自動車免許の取得 た、多様な職場体験や	も可能であ 実習を経験 この信頼関	□職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。 □アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。  ご様々なところでアルバイトをしており、社会経験、職場体験の機会にもある。今後の課題として、自己の進路決定に活かせるよう、子どもたちの食する企画の検討が望まれる。  係づくり  A39 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。  □施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう	恵まれ 要望に a
生は法人内施設や近隣 る。自動車免許の取得 た、多様な職場体験や	も可能であ 実習を経験 この信頼関	□職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。 □アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。  ば様々なところでアルバイトをしており、社会経験、職場体験の機会にもある。今後の課題として、自己の進路決定に活かせるよう、子どもたちの検する企画の検討が望まれる。  係づくり  A39 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。 □施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。 □家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取	恵まれ 要望に a
生は法人内施設や近隣 る。自動車免許の取得 た、多様な職場体験や	も可能であ 実習を経験 この信頼関	□職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。 □アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。  ば様々なところでアルバイトをしており、社会経験、職場体験の機会にもある。今後の課題として、自己の進路決定に活かせるよう、子どもたちの検する企画の検討が望まれる。  係づくり  A39 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。  □施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。  □家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。  □家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	恵まれ 必要望に a

	<sup>①</sup> A40 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組ん でいる。	b	A4
	口家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	0	
	□面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活 用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向 上などに取り組んでいる。	0	
	□児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。	0	
【コメント】	ピーなどが親子関係再構築の支援の中心となっているため、今後は施設としても	- 1#	Í
(13) スーパービジョ	,,,,,		
·		b	A4
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	① A41 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織	b	A4
·	① A41 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織 力の向上に取り組んでいる。	~	A4
	1 A41 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。  ロスーパーバイザーを配置し、いつでも相談できる体制を確立している。  口職員に対するスーパービジョンを定例的に行い、職員がひとりで問題を抱え込	0	A4
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	↑ A41 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。  □スーパーバイザーを配置し、いつでも相談できる体制を確立している。  □職員に対するスーパービジョンを定例的に行い、職員がひとりで問題を抱え込まないように、スーパーバイザーなどを通じて、組織としての働きかけをしている。  □スーパーバイザー以外にも職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが支援技術を向上させ、施設全体の支援の質を向上させるような取組を	0	A44
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	① A41 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。  □スーパーバイザーを配置し、いつでも相談できる体制を確立している。  □職員に対するスーパービジョンを定例的に行い、職員がひとりで問題を抱え込まないように、スーパーバイザーなどを通じて、組織としての働きかけをしている。  □スーパーバイザー以外にも職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが支援技術を向上させ、施設全体の支援の質を向上させるような取組をしている。  □スーパーバイザーは、職員からの信頼が得られるよう、研修に参加するなど質	0	<b>A</b> 4
【コメント】	↑ A41 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。  □スーパーバイザーを配置し、いつでも相談できる体制を確立している。  □職員に対するスーパービジョンを定例的に行い、職員がひとりで問題を抱え込まないように、スーパーバイザーなどを通じて、組織としての働きかけをしている。  □スーパーバイザー以外にも職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが支援技術を向上させ、施設全体の支援の質を向上させるような取組をしている。  □スーパーバイザーは、職員からの信頼が得られるよう、研修に参加するなど質の向上に努めている。	0 0	A44